

## いちごバスツアー

青年部 一体感が生まれた



大阪市教、市障教の青年部共同主催で3月16日にバスツアーをしました。27名の参加でバスを貸しきって行くことができました。バスの中では四人がバスレクをしてくれたので行くときからとても楽しい雰囲気でした。行程は、湯浅醤油の製造工場↓梅干し工房↓いちご狩りといちご大福作り↓昼食といちご給作り↓道明寺↓温泉と、和歌山の春を一日で食べ尽くす、という内容でした。



湯浅醤油 工場で醤油の試食や醤油や金山時味噌の買物を楽しみました。梅干し工房では、梅干しの試食と梅酒の試飲を一杯味わいました。お腹がすいた時にいちご狩りとなったのもありますが、いちごの美味しさにみんな大喜びでした。「いちごあま〜い!」とハウスいっぱいのいちごを幸せいっぱい表情ではおぼろました。想像をはるかに越える美味しさに、子どもに戻る無邪気な大人ばかりになりました。

者の感想です。「1日にたくさん様々な所を回る事ができ、有意義な企画だったように思います。何よりも組合員の一体感が生まれたのにはないでしょうか。海を見ながら

### 団体交渉で 府教委

## 不当提案取り下げ 再任用の任用・更新

### 再任用の任用・更新

2月19日、府教委は大教組に対して、①「評価・育成システム」を利用して、(SS・S)の中で、優秀教職員表彰者等に新たな賞金加算の制度をもうける②再任用職員に対して2013年度の評価を14年度から賞金リンクするとの提案を行いました。評価を細分化して、賞金格差を拡大させるとして、大阪市の大教組とも撤回に向け職場決議と署名に取り組みました。市教も参加した2回の団体交渉で、「システム」の

「目的は、教職員の育成、意欲・資質の向上、学校の活性化である」「評価は客観公正で、校長によって評価基準は変わらない。勤務時間内を対象とする」ことを改めて、府教委に確認させました。職場決議6806、全職員署名13,020人分を提出し、撤回を強く求めました。この交渉で、「評価基準を7段階に細分化するものではない。(優秀教職員表彰者等への)賞金は、『システム』とは別物」と府教委に言明させました。しかし、

「賞金」に「システム」の賞金リンクでつくられた財源を流用する矛盾など問題が残されています。

また、3月6日には、「再任用選考に『評価・育成システム』の評価結果を反映する提案」(前年度の評価が最下位Cの評価を受けると雇用しない、雇用継続をしないという、不当な提案)が行われ、3月26日、32人の参加で団体交渉を行い、府教委の不当性を徹底的に追求しました。4月1日から施行される改正高年齢者等の雇用の安定等

くつろいだ露天風呂、幸せな気分でしたね」「いちご狩りツアー初めて参加させていただきましたが、とても満足いくツアーでした。香り豊かな南高梅の作られ

方や、湯浅醤油の製造過程も見られて、味わうだけでなく久しぶりに社会見学ができ、一石二鳥なお得なツアーでした。またぜひ参加したいです。ありがとうございました」

## たんぽぽ だより 4月

3月は、ランチたんぽぽ会議でした。ご飯を食べながら、来年度に向けて思っていることを交流しました。「青年が元気な職場にしたい」「あまり会議に出られなかったので来年度は頑張りたい」

を出し合いました。市障教青年部と教研、バスツアーを取り組みで仲良くなって、せっかくだから一緒にしようと思った共催企画ですが、何回も続けられたのでよかったです。大阪から逃げたいと思ったこともあったけど、企画で癒されたので頑張る力があつた」という声もありました。これからは、自分はもちろん、隣人も元気にする企画をつくっていきましょう!



## 市対連 TPPが医療を壊す カジノは「破滅の殿堂」

大阪市対策連絡会議は3月22日、代表



の井上賢二医師を講師に「憲法違反の社会保障制度改革推進法とTPP」の学習会を行いました。井上氏はTPPが医療を壊すとして、①混合診療の解禁(医療の格差、安全性破壊)②株式会社による病院参入

(非営利・公益性の医療が儲けの対象に)③薬代が高くなる(医薬品の安全性も不安)④外国人医師が日本に(医療水準の維持が不透明になる)ことを指摘しました。また、社会保障制度改革推進法は「受益と負担の均

衡」を掲げ、憲法25条(生存権)に反すると話しました。「カジノ解禁が大阪を滅ぼす」と題した講演会が3月16日開かれ113人が参加(写真)。シャーナリストの若宮健さんは「ギャンブルはすべて敗者の犠牲の上に成り立つ」、橋下市長が誘致を計画する「カジノは破滅の殿堂」と指摘しました。

## 市労安協議会 公務災害が認められ喜びの声

第3回大阪市教職員労働安全衛生協議

会が3月27日に開かれ、定期健康診断の事後措置、長時間勤務職員に対する産業医面接などの前進面と課題が話し合われました。来年度に向け、時間外勤務の実態把握、休憩時間取得などが要望として

出されました。学校での怪我が「公務災害」と認められなかった問題で、大阪市教は組合員と共に不服申請、口頭陳述に取り組みました。3月、申請が認められ、要求が実現しました。組合員から喜びの声が届きました。



大阪市の雨にも関わらず、育休中のママ、復帰されるママ、子育てしながら働くママ、8名の参加がありました。10ヶ月の赤ちゃん2

「原発ゼロへ、フクシマとつながり未来をつくる」と国際女性デー大阪集会在3月8日に開かれました。会場を埋め尽くす200人の参加がありました。作家

## 女性部 第1回ママ友会議 国際女性デー 3/28

大阪市の雨にも関わらず、育休中のママ、復帰されるママ、子育てしながら働くママ、8名の参加がありました。10ヶ月の赤ちゃん2才の子どもたちも来てにぎやかに交流しました。土曜授業や授業アンケートなど不安なこともあつたという感想があつた。次回もぜひ参加したいということで夏休みには第二回(7月27日)を開くことになりました。参加者には、学級で使えるかわいい掲示物のお土産もありました。ママも子どもたちも生き生きと輝いていて元気をもらいました。

退職されたみなさんを囲む会 5月24日(金) 18:30 アネックスパル法円坂